

議会だより みなかみ

天高く 躍動のとき

平成29年(2017年)
10月15日発行

51号

9月定例議会

平成28年度 決算認定 …	2
審議結果……………	4
陳情……………	6
一般質問……………	10
活動報告……………	13
この町あるある……………	16

表紙写真：月夜野中学校体育祭にて



バックナンバー
が見られます。



群馬県利根郡みなかみ町

平成28年度「決算認定」

注目事業検証

計画

9860万円

成果

9860万円

利根商施設の充実

利根商改革基本構想8本の柱から「施設の充実」へ補助をした。
平成28年度は、サッカー場が人工芝に生まれ変わり充実の要因を果たした。
利根商改革はまだ始まったばかり、今後の活性化に注目したい。



人工芝に生まれ変わった利根商のサッカー場

2219万円

1722万円

みなかみユネスコ エコパーク誕生



人と自然が共生してきた真沢の棚田

ユネスコエコパークへの登録事業と推進事業が予算化された。PR資料に予算は膨らんだが委託料が低減しトータルで減少の結果となった。今後更に町内への浸透を充実させ町民全体で、みなかみブランドとしてユネスコエコパークを育てていくことになる。

1億4188万円

1億1225万円

感謝を込めて



旧幸知小学校（水上地区）

旧幸知小学校等が解体された。跡地は今後、有効活用が望まれる。



現在の様子

9月定例議会では、前年度（平成28年4月～平成29年3月）の決算を審議、認定した。決算の審議案件は、7月～8月に監査委員が11日間かけて審査し代表監査委員の澁谷正誼氏から報告を受けた（5頁）。

議会では、3常任委員会が合同で「連合審査会」を開催して詳細を審査した（8～9頁）。

平成28年度決算財政内訳

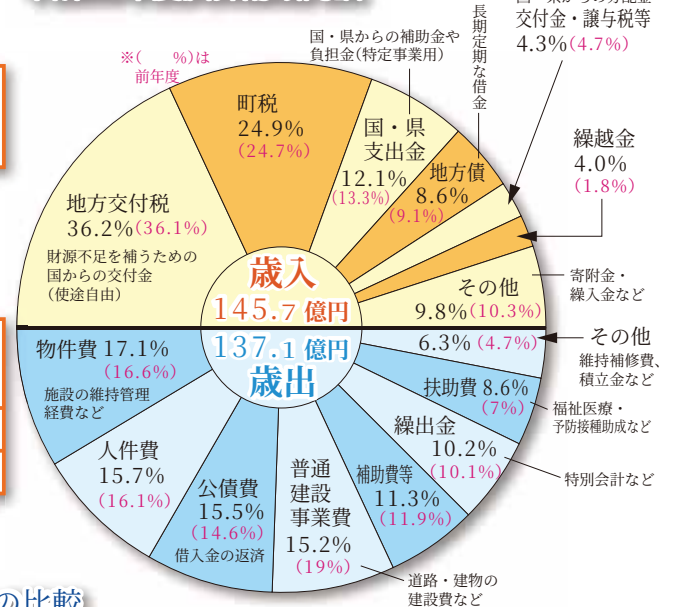
歳入 - 歳出
= 8.6億円

内訳

2.7億円
平成28年度未完成事業の繰越金

3.0億円 基金に積み立てる

2.9億円 繰越金



平成28年度当初との比較

歳入決算 145.7億円 (10.1億円増)

自主財源 町税・手数料ほか 39%
地方交付税 36%
依存財源 国・県支出金・交付金ほか 16%
町債 9%

歳入当初 135.6億円

自主財源 町税・手数料ほか 36.9%
地方交付税 36.3%
依存財源 国・県支出金・交付金ほか 16.1%
町債 10.7%

歳出決算 137.1億円 (1.5億円増)

義務的経費 人件費・扶助費・公債費 40%
投資的経費 建設費・災害復旧費 16%
その他 物件費・補助費・繰出金ほか 44%

歳出当初 135.6億円

義務的経費 人件費・扶助費・公債費 42.50%
投資的経費 建設費・災害復旧費 13%
その他 物件費・補助費・繰出金ほか 44.50%

9月7日から20日までの会期で開いた。発議2件うち1件は意見書提出の発議、指定管理施設等の報告5件、契約締結2件、条例3件、その他人事案件等5件、決算認定6件（2〜3、5、6〜7、8〜9頁）、補正予算1件（7頁）を審議し、全てを可決・同意・承認・認定した。一般質問は2名であった（10〜12頁）。

本会議審議結果

議会の流れ

- 9月7日
本会議上程及び審議
・決算認定及び補正予算を除くその他議案を全会一致で可決・同意・承認
※決算認定及び補正予算は審査時間が必要のため9月20日の最終日に審議
※決算認定上程に際し、代表監査委員より「決算審査意見書」報告
- 9月8日
本会議 一般質問
(10〜12頁)
- 9月11日
委員会
予算連合審査会
(8〜9頁)
- 9月12日
委員会
総務文教常任委員会
「陳情2号ほか」
(6頁)
厚生常任委員会
- 9月13日
委員会
産業観光常任委員会
「陳情1号ほか」
(6頁)
議会だより編集特別委員会
- 9月14日
特別委員会
まちづくり振興特別委員会
(13頁)
交流促進特別委員会
- 9月20日
本会議
審議
・陳情1号 採択
・陳情2号 継続審査
・決算認定 認定
・補正予算 可決
・上程
・発議

選挙

選挙管理委員会委員及び補充員当選

- 選挙管理委員会委員及び補充員の任期満了に伴う選挙を議長の名推薦にて当選人が決まった。
- 選挙管理委員
 - ・阿部 勝 (下津)
 - ・綿貫 新 (恋越)
 - ・田村 吉 (谷川)
 - ・高橋 一幸 (月夜野)
 - 選挙管理委員補充員
 - ・三池 義守 (鹿野沢)
 - ・高橋 和秀 (月夜野)
 - ・阿部 清 (下牧)
 - ・片野 明 (新巻)

人事

公平委員、教育委員決まる

- 公平委員及び教育委員2名の選出について、全会一致で同意した。
- 公平委員
 - ・高橋 孝一 (下牧)
 - 教育委員
 - ・利根川 太郎 (布施)
 - ・鈴木 長善 (上牧)
- 「道路整備に係る補助率等のかさ上げ措置の継続を求める意見書」について、議会発議で上程した。その結果、全会一致で提出することになった。

発議

意見書提出

ており、更なる改善の努力を望む。職員数は当初の目標値にほぼ近い実績となっているが、人員の縮減が先行している感が否めない。早急に取組を行い、働きやすい環境・職場づくりを進められたい。

積立基金について

普通会計の積立基金の総額は、合併当初からみて各種の努力により大きな伸びとなっている。しかし、本年度から一部取崩しが始まり、今後、財政運営に大きな影響を及ぼす多額な費用負担が想定される。要素を加味した適切な基金管理で対処されたい。

その他

- ・森林(やま)の再生は、森林整備への視点で進めていただきたい。
- ・村落(むら)の活性化は、人のマッチングに適切な施策の導入を。
- ・移住定住の注目は、サテライトオフィス※1の開設。
- ・資源の活用は、DMOに期待する。
- ・たくみの里活性化事業の取組で新たな楽しみが増えた。

報告

指定管理者の経営状況報告等

地方公共団体の財政健全化や、町が資本金の半分以上を出資している法人の経営状況を、次の議会に一定の説明報告が義務づけられている。



(株)水の故郷が指定管理者の「水紀行館」

(株)水の故郷、(株)猿ヶ京温泉夢未来、(株)月夜野振興公社から経営状況の報告と平成28年度決算に基づく健全化判断比率・資金不足比率(財政と公営企業経営の健全化について判断したもの)について報告があった。

審査結果の総括意見

代表監査委員の澁谷正雄氏より「決算審査意見書」の報告があった。決算審査は7月20日から8月8日までの11日間にわたり入念に行われた。(審査結果の総括意見から一部を抜粋)

歳入について

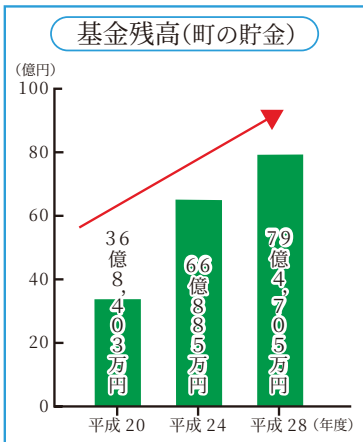
町税及び使用料等は、町を支える礎であり、収入未済額を増やさない対応を今後も重要課題として取り組まれたい。

歳出について

地方債の新規発行の抑制等、鋭意努力されていることが認められる。しかし、平成33年度からは合併特別債がなくなることを想定し、経費の節減に努められたい。

行財政改革について

財政は成果を上げつつあるが、県内他市町村や類似団体等と比較すると、まだかなりの課題を抱えている。



※1

都市周辺部に設置され、都市部にある本社とデジタル通信・ファクシミリなどによって情報交換を行うオフィス。

陳情 みなさんからの声

認定
(関連8・9頁)

陳情2号

■陳情内容(抜粋)

新しい働き方の労働者としての法的保護を受けられたり、社会的認知がされるよう「協同労働の協同組合法(仮称)」の制定を求める意見書の提出を求めるもの。

■委員会審査内容

新しい社会の動きに今まで網羅されない人たちをカバーするもので賛成。基本は採択だが趣旨採択で。継続で勉強期間を。等の意見から継続審査となった。

2件の陳情について審議した。
主な請願内容と議長より付託された所管委員会での審査内容及び審査結果は次の通り。本会議では質疑・討論はなく、所管委員長の報告と並びの結果となった。

陳情1号

■陳情内容(抜粋)

手入れの行き届かない森林に手を入れていく為の財源を確保する「全国森林環境税」導入の実現を求める意見書の提出を求めるもの。

■委員会審査内容

細かな対応に添える措置である。是非必要。お金が環境整備に使われれば、町民の見通しも明るい。制度内容の充実も必要だが大賛成。趣旨は良いが国がやったことを地方に押しつける形は良くない。等の意見が出された。討論はなく全会一致で採択すべきものとした。



一般会計歳入歳出決算

■全会一致可決 討論なし

国民健康保険特別会計

▼15…2賛成多数可決

林 誠行 議員

町は黒字続きなのに町民に負担を強いてきたこの特別会計に反対する。

賛 鈴木 初夫 議員

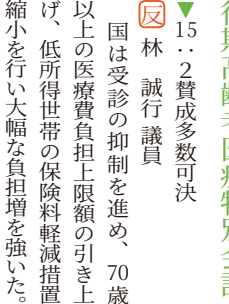
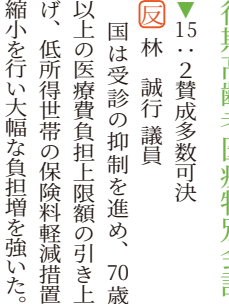
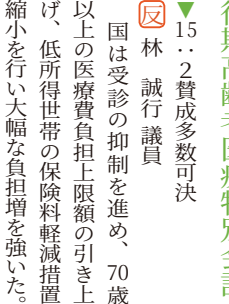
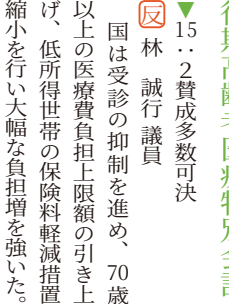
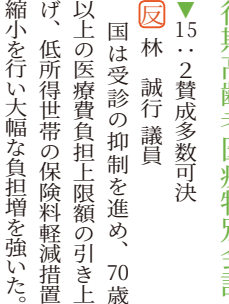
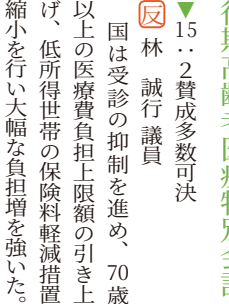
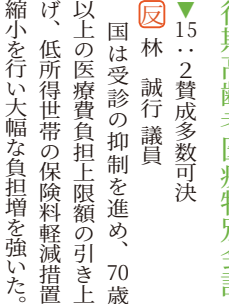
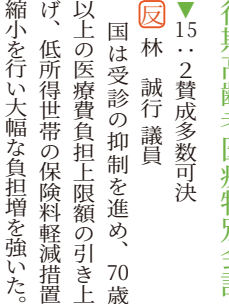
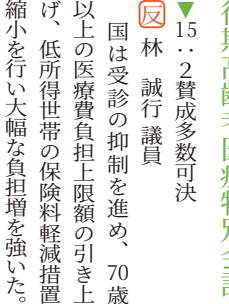
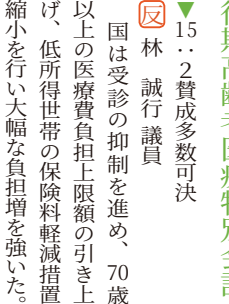
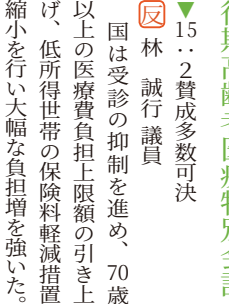
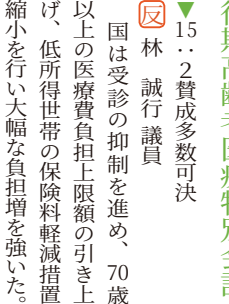
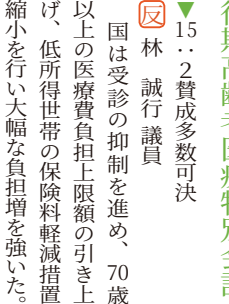
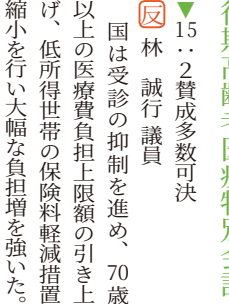
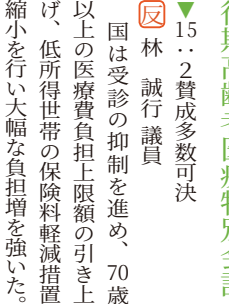
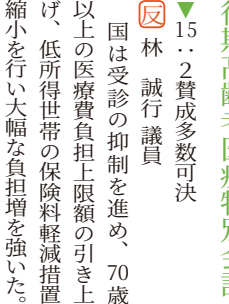
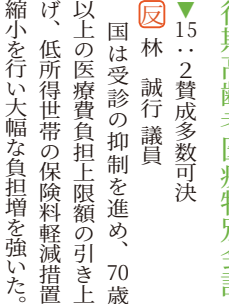
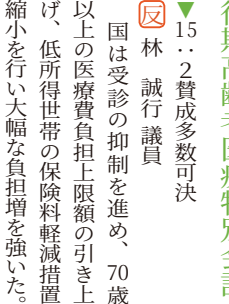
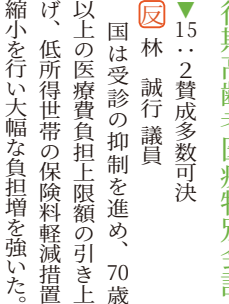
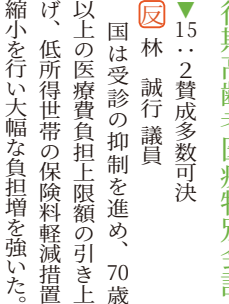
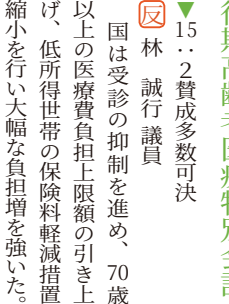
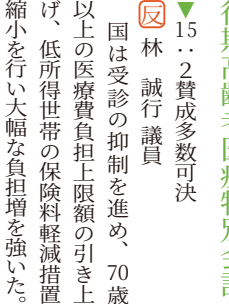
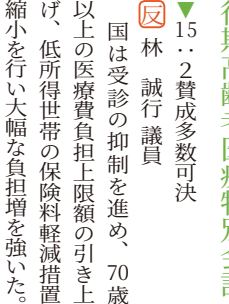
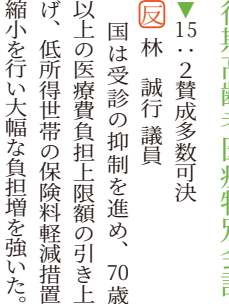
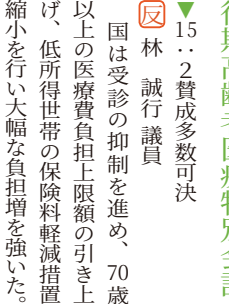
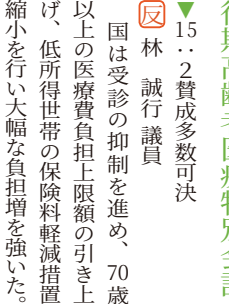
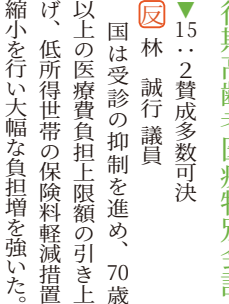
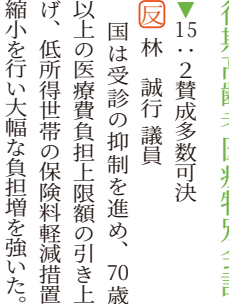
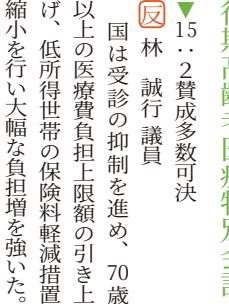
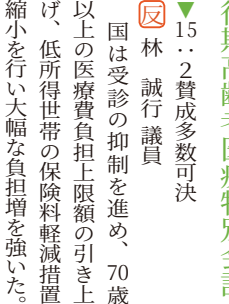
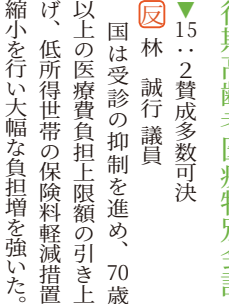
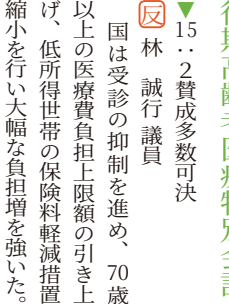
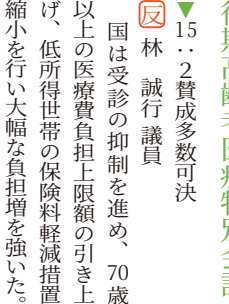
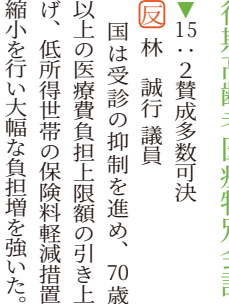
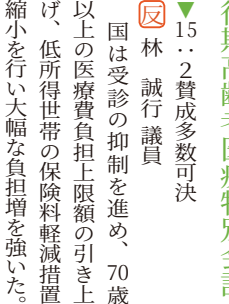
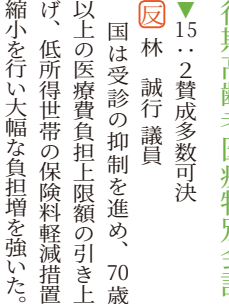
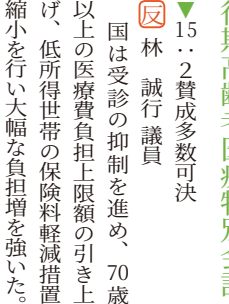
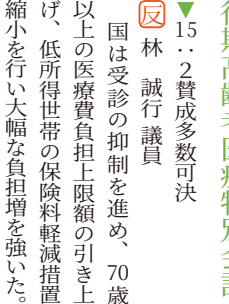
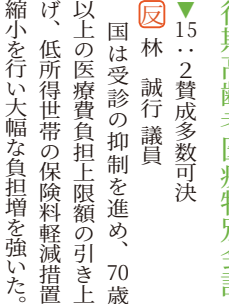
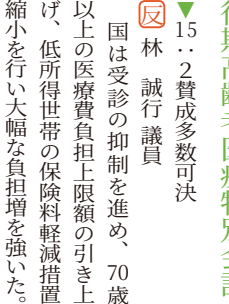
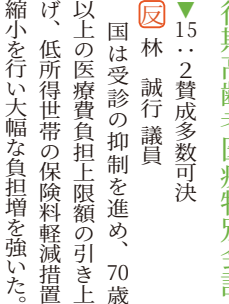
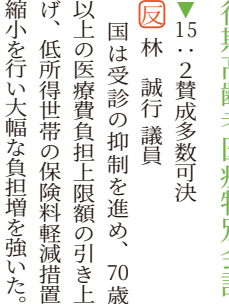
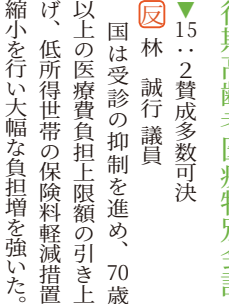
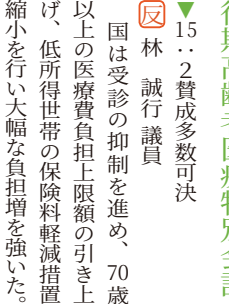
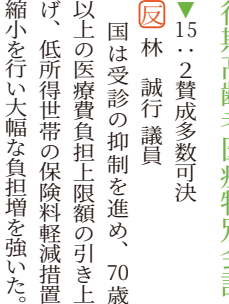
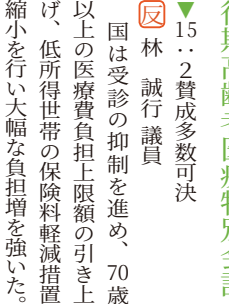
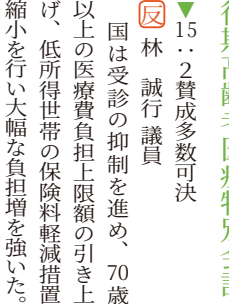
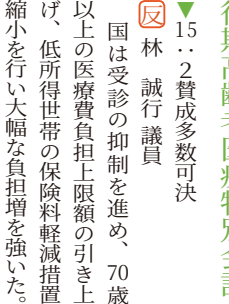
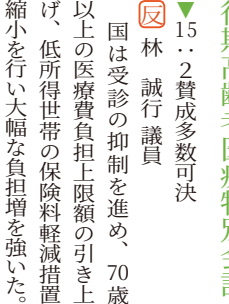
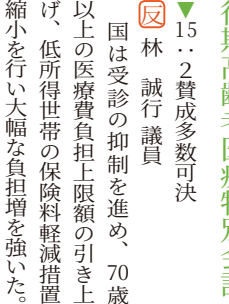
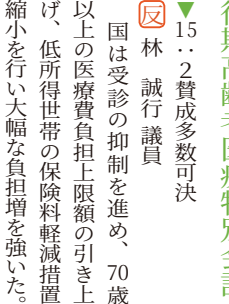
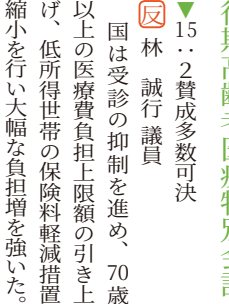
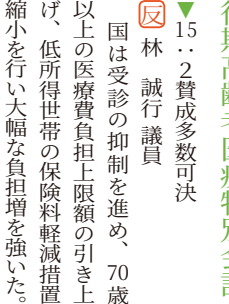
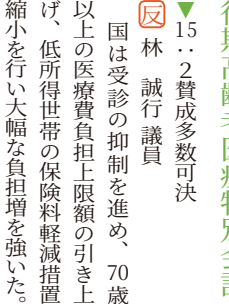
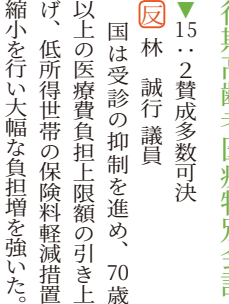
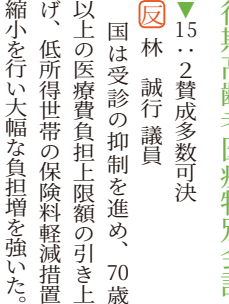
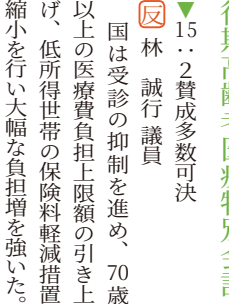
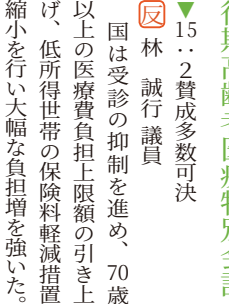
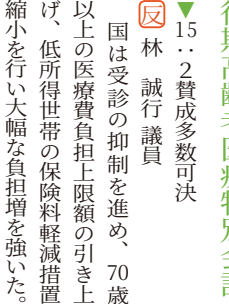
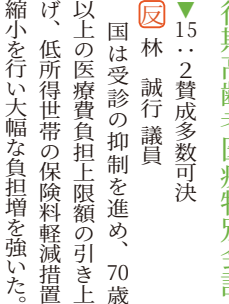
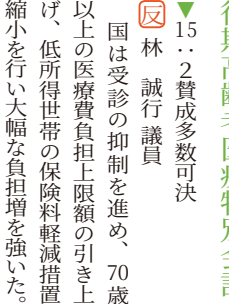
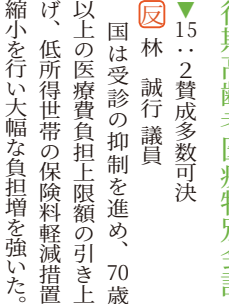
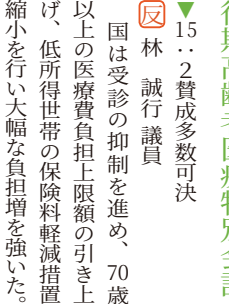
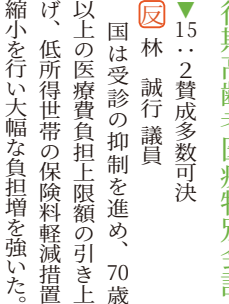
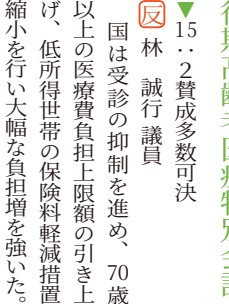
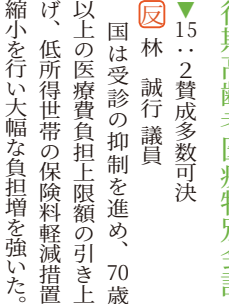
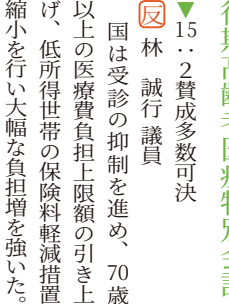
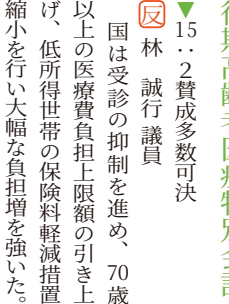
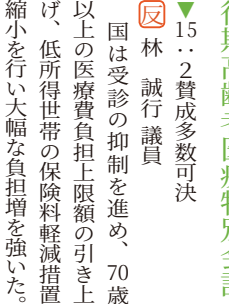
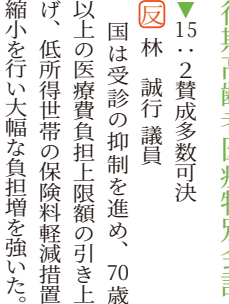
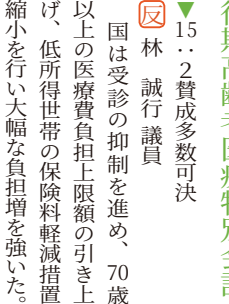
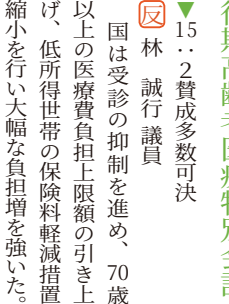
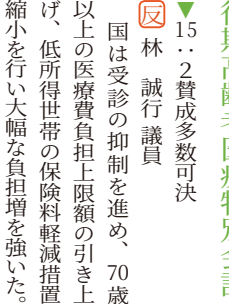
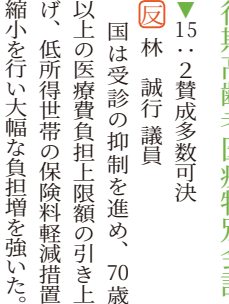
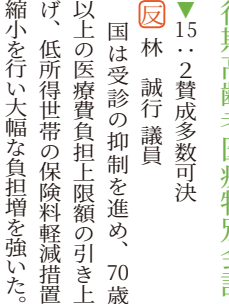
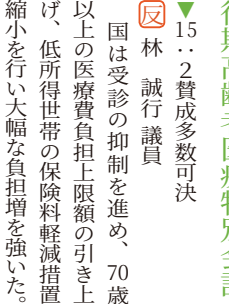
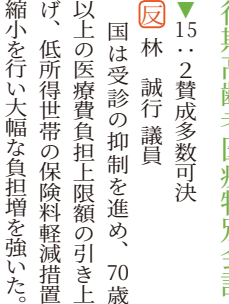
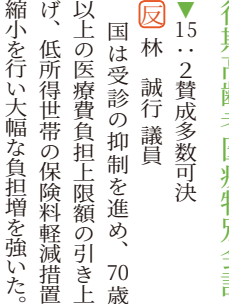
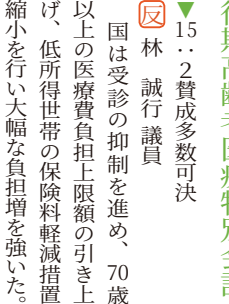
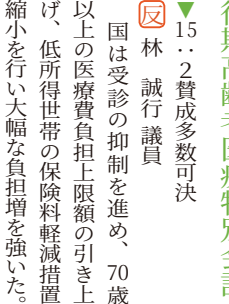
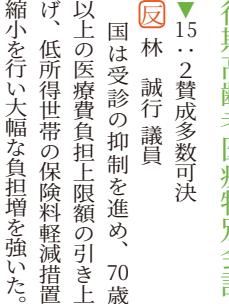
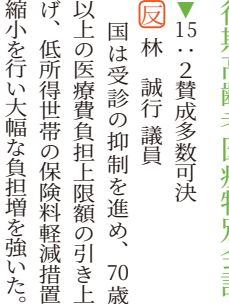
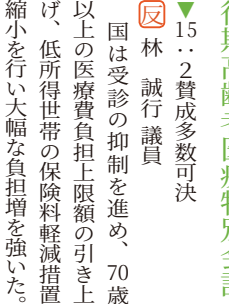
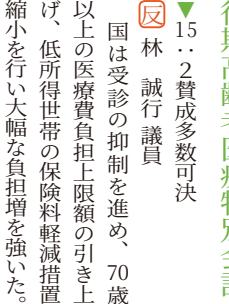
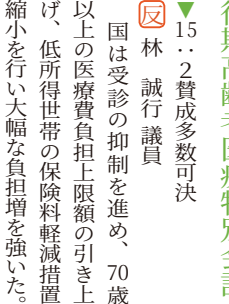
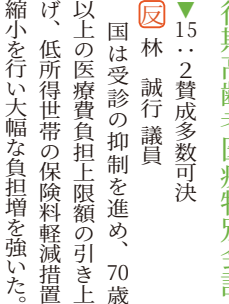
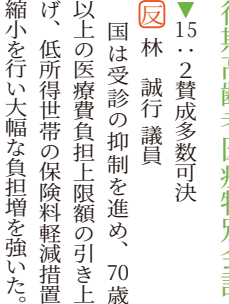
今後の制度改革において、財政運営を広域化し安定させる目的が見込まれている。

後期高齢者医療特別会計

▼15…2賛成多数可決

林 誠行 議員

国は受診の抑制を進め、70歳以上の医療費負担上限額の引き上げ、低所得世帯の保険料軽減措置縮小を行い大幅な負担増を強いた。





連合審査会質疑応答

各会計の説明を受け、常任委員会連合で決算の認定に係る質疑を行った。

討論はなく全会一致で可決し、委員長は本会議へ報告した。

※関連2〜3頁、5頁、6〜7頁

一般会計

歳入

質 昨年からごみの収集方法が若干変わったが、ごみ処理手数料（ごみ袋）への影響は。

答 黄色い袋や資源の袋の売上は少し落ちていたが、目に見えて落ちた状態ではない。

歳出

支援・補助

質 中学生台南市訪問交流支援事業補助金は、町村会交付金での対応か。残額は、どこに支出か。

答 民生寄附金で受け実施し、残額で中学生の体育着を作

質 台湾でどうBR※を利用した観光戦略をするか。また、台湾以外での戦略は。

答 交流館を起点にパンフレット等を準備し、ユネスコエコパークを活用した集客を見据える。

台湾以外へは、英語版のパンフレットを作成し配布したい。

※Biosphere Reserve (バイオスフィアリザーブ)の略
生物圏保存地域（日本語で、ユネスコエコパーク）
ユネスコで実施する「人間と生物圏計画（Man and Biosphere Programme: MAB計画）」における取組み。
自然と人間社会の共生を目的とし、世界各国からモデル的な地域をBRとして認定する。
町は6月にBRに認定された。

国民健康保険特別会計

質 人間ドック検診費助成金は前年比で大幅に伸びているが、歳入の特定検診費は逆に減っている。因果関係はあるか。

製配付する事業だが各学校との統一が難しく、今年度に繰り越した。ウィンドブレーカーになると思う。

質 高速救急支弁金負担事業で、ドクターヘリが着陸できる場所を検討しているか。あるならランデブーポイントに行くには、最長で何分くらいかかるか。10分以内で搬送出来る場所を検討している町村が多い。

答 ランデブーポイントは、町内9カ所の登録。新治方面では、吹路から赤谷湖まで20分くらいになる。



質 合併後補助金を半額にしたが、商工会、観光協会の2つの団体については減っていない

答 特定健診は、国の助成事業を受けて未受診者対策の業務を委託し、電話やハガキによる勧奨を行っている。その成果が出ているのではないかと考える。

介護保険特別会計

質 住宅改修支援費は、町の住宅改修とどちらが有利なのか。

答 介護給付の住宅改修費は、他のサービスを利用しての方が在宅で生活する場合に住宅改修をケアプランの中に位置づけるもの。今回は特にケアマネジャーが入って他のサービスの利用がないケースだったので一概にどちらが有利とは言えない。自宅

で介護サービスを受けながら生活をしていただく場合に必要な支援を受けられるかたちで取り組んでいければと考える。

下水道事業特別会計

質 公債費4億8000万円の支出は全体の52%。これで

い。ほかの団体がイベントをする場合、町と観光協会等から補助金が出ている状況がある。2つの団体の補助金を減らし、町が直接補助金を出せばいいのでは。

答 観光に係る地域づくりについては、担ってもらう組織として新しい組織が発足している状況。町がDMOなる観光協会への支援は増やさざるを得ないと思う。商工関係については、商工会に主体的にやってもらうことは必要と思う。町から直接出すのはやめ、それぞれにやってもらうのが好ましいと思っている。

政策

質 中小企業・小規模事業振興基本計画の進捗状況は。条例制定から2年経つ、早めによつてもらいたい。

答 もう少し制定時の思いを入れてとの指摘があり、修正をしている。

は返済のために借金を毎年重ねていることになり、料金を跳ね返ってくると思う。抜本的な解決策を考えているか。

答 抜本的な解決策は特段ないていき、なるべく早めに返済することである。

水道事業会計

質 猿ヶ京の浄水場の改修で給水量は増加できるようになると思うが、今まで東部浄水場は農業用水から給水を受けていた。その扱いはどうなるのか。

答 農業用水から供給を受け土地改良区へ負担金を払っていたが、今は払っていない。水利権は残っているのに、猿ヶ京が通水できる状態ではないので、100%でなく補給水程度で利水しており、全てなくなったわけではない。

町政を問う

一般質問 Questions

一般質問とは

議員が町の行財政全般にわたって執行機関に疑問点をただし、所信の表明を求めるもの。

執行機関の政治姿勢を明らかにし、それに対する政治責任を明確にさせたり、結果として、現行の政策を変更、是正させあるいは新規の政策を採用させるなどの目的と効果がある。

定例会のみで行われ、現在、みなかみ町議会での一般質問の時間は、一人50分までとなっている。

主な質問事項

林 誠行 はやしのぶゆき

- ① 小中学校の統廃合について
- ② 学校給食費の無料化を
- ③ 利根川源流讃歌について

高橋 久美子 たかはし くみこ

- ① エコパークとして環境整備の更なる充実の取り組み
- ② マイナナンバーカードの普及促進について



林 誠行 議員

答申の統合日程、無理では

町長 平成33年4月ではいかにも短い

問 活力ある学校づくりの答申が出た。その後の対応、地域や保護者の反応は。

答 教育長 6月、よりよい教育環境の整備と充実を図り、小・中学校の適正規模・配置を町長に答申した。様々な課題が付随し、解消に向けた取組の準備を進めている。

問 学校は重要な役割を持つ。保護者の声を大事にするとは。

答 町長 地域に学校があるというメリットは、十分配慮する必要がある。幅広い町の方々に議論頂いた。

問 スクールバスの所要時間、乗車割合は。また、統合で予想されることは。

答 教育長 バスは16台。月夜野で4路線、水上で2路線、新治で7路線。通学距離が1番長い児童は16km、所要時間は35分。利用者は260人で23%。距離だけでは実態にそぐわない。通学時間は1時間を一応の目安としていきたい。

問 3年後に一斉に統合。日程が先に有りでは無理と思うが。

答 町長 33年4月ではいかにも短い。ハード整備については今後検討していきたい。

学校給食費の無料化

問 給食への見解は。

答 教育長 全体で1376食、年間200日実施している。給食費は月額、小学生で4300円、中学校で4800円。食材費に限定し保護者負担が適切。

問 県内に無料化が広がり何らかの施策をしている自治体が過半数を超えた。町の考えは。

答 町長 約2億3千万円の3分の1を保護者が負担。今すぐやるか、判断が難しい段階だ。

利根川源流讃歌の継続

問 7月に最後の発表会になった。今後の対応は。

答 町長 お問い合わせに留まると思うが、イベント等の機会に声かけ等のいろいろな方法があるので出来る範囲で努力したい。

答 教育長 教育委員会も積極的に活動を支援して行きたい。



利根川源流讃歌
(カルチャーセンター)



高橋久美子 議員

景観など今まで以上に力を入れて

町長 エコパークの取組は皆でやる

問 ある町民の方から「エコパークに登録はいいけれども、不法投棄もあるし、ごみも結構道端に捨てられているよ。それでエコパークとしていいのか」という内容。私も車を走らせてみた。

国道沿いを三国トンネル向かう片側だが、町のボランティア袋に3袋ほど拾った。また、道路脇の草も生い茂っていて、気になった。登録されたからには、ごみ、景観など今まで以上に力を入れて、

未来に向けて継続性を持たせる取組が必要と思いい、質問をしたい。このような状況を町はどの様に把握し対応しているか。

答 生活水道課長

町民からの通報で確認して処理している。

美しい町を代表する風景の一つ。
みなかみユネスコエコパーク全景

問 日ごろから、お隣の高山村を通ると、景観がきれいだなと感じており、高山

村役場をお訪ねして話を伺った。

雇用創出の場と捉え、シルバ人材と村内4社の土建業者へ草刈りを委託している。また、婦恋村においては、高齢者の雇用創出と観光の村として、年間を通し2人ごみ専門の巡視員を臨時雇用し、環境美化を図っているとのこと。喫緊の課題として、幹線道路沿いのごみ対策と草刈りの取組が必要かと思うが。

答 町長

ご指摘のように、ごみとか道路脇の整備で、雇用を考えたらどうかということについて、一つの重要なご提案ということで受けとめた。



答 町民福祉課長
1487人で7.3%。

問 マイナンバーカードの普及促進について、本町の交付状況は。

問 行政と町民にとり、各種証明のコンビニによる交付はメリットがあると思うが、タイムスケジュールはどうか。

答 町長
地方自治体の数が千四百数十ある中で、大都市がほぼクリアできた頃、町としても考えるというので、今は考えていない。

委員長報告

子育てと若者の定住促進への提言

9月20日 まちづくり振興特別委員会

昨年5月の発足以来、人口減少の歯止めについて議論してきた。初回報告の「千葉市高原千葉村有効活用」による雇用創出の提言に加え、今回は「子育てと若者の定住促進」についての施策提言を議会に報告した。

3種の課題から施策へ

人口の減少や少子化に直接起因する課題を3つに分類し、施策を検討した。

1. 住環境
2. 子育て支援
3. その他

住環境での課題は、魅力的な賃貸物件が少ない・地代が高い等、住み続けるための課題があげられた。

子育て支援では、保育サービスの充実面、住宅補助金制度の使い

勝手の悪さ、各種補助金の充実面の課題が出た。その他の課題では、給食費、町内文化娯楽施設の欠乏や町内移動手段、雇用面、テレワークセンター※や自伐型林業との結びつきの他、情報提供の至難について出された。

※テレワークセンター

MINAKAMI (みなかみ)

都市部企業・テレワーカー(情報通信技術(ICT))を活用して時間や場所にとらわれない働き方をする人)に、快適なビジネス環境を提供している。



「テレワークセンター MINAKAMI」(旧日夜幼稚園)

施策提言

課題から、早急に取り組まなければならぬことを見出し施策の

提言に繋がった。
住環境施策では、若者が住みたくなる賃貸物件の整備。賃貸物件情報の提供。移住者への定着支援策を提言。

子育て支援施策では、保育環境の質の向上。子育て支援施設の充実。子育て家庭住宅新築補助制度充実。住宅以外の補助制度充実に提言。

課題のその他に掲げたもの他にエコパークを冠にしたまちづくりの推進。Uイターン希望者誘致活動の展開、若者のニーズにあった働く場の提供(企業の誘致・起業しやすい環境作り)、若者が集う場の創設、移住者の町内交通手段の確保、起業支援と人材育成の充実を提言した。

結び

様々な視点で検討し、取り組めるものから実施していくことを期待する。

近代技術工法のダム建設現場へ



指定見学場所から撮影した全景

国交省現地事務所職員より説明を受けた後、現場へ案内された。幾多の困難を経て2015年1月にダム本体工事に着工、現在約40%の進行状況、完成は2019年度を目途に進められている。

これにより利根川周辺地域の安全・安心が高くなる。また首都圏への供給水にも余裕が出ると思う。また貴重な観光名所、吾妻渓谷もほとんどが残り、完成後の観光、地域の発展・活性化が期待されている。



現場を背景にした集合写真

8月11日、議会では国交省の協力により、今世紀最後の大型多目的ダムといわれている長野原町のハッパダム建設現場を視察した。

除雪ステーション先進地視察

産業観光常任委員会

8月29日、30日に国交省の新潟県村上市の「朝日除雪ステーション」と山形県山形市の「山形除雪ステーション」の2ヶ所を視察した。

町は、現在40台の除雪車があり維持管理、出動時の負担軽減等を考慮し除雪作業に備えなければならない。

同ステーションの機能は予想以上で、要員の休息、仮眠所など居住空間が充実、降雨(雪)に関係なく維持管理業務ができる。町にとって除雪作業対応は重要な業務であり、長期的な判断での計画検討が必要とあらためて感じた。



朝日除雪ステーション(村上市)

注目される

7月以降に2町の議会より行政視察があった。他自治体との情報交換は非常に参考となり、双方にとり有意義な研修会となった。

○7月27日
石川県志賀町議会様
「議員報酬引き上げについて」
○8月21日
富山県立山町議会様
「廃校舎の利活用について」

編集細部に気を配りたい

町村議会広報研修



広報研修でクリニックを受ける

7月4日東京千代田区の全国町村議会会館において、平成29年度の町村議会広報クリニックが開催された。53町村議会が3分科会に分かれての研修。グラフィックデザイナーの長岡光弘氏を講師として、4月15日発行の当町の議会だより49号をクリニックしていただいた。

総評として、町の魅力をアピールする、「町のお宝紹介」、「町民ひろば」や、広聴機能のある「皆

議会だより編集特別委員会

様のおたより」等、町民との紙面企画が多く設定され、議会だよりが、町民とのコミュニケーションメディアとなっている。ただ、細部にも気を使った編集をとのアドバイスもいただいた。今後も更に住民目線にこだわった編集企画に努めたい。



利根郡の発展を担って

利根郡町村議会議員・事務局長研修

7月13〜14日、「猿ヶ京ホテル」にて、平成29年度の議員・事務局長の研修会が総勢62名の参加で開催された。

一日目は、群馬県総務部市町村

課選挙・政治団体係長 茂木直人氏による「若者の政治離れへの取り組み」、「公選法における禁止行為」、又、群馬県町村議会議長会次長 峰岸茂己氏による「議会運

営等に関する事例研究」の演題で研修。

二日目は、群馬県利根沼田振興局長 岡部清氏による「利根沼田地域の活性化について」の演題で研修した。議員にとって大切なことを学ぶと共に、郡内の議員同志の交流も図られ有意義な研修となった。

友好都市誕生

埼玉県伊奈町

9/29

お付き合いの長い「埼玉県伊奈町」と友好都市の締結をした。今後は、各イベント協力の強化や交流人口の増加などが期待される。

伊奈町 (いなまち)
・人口 44,658人
・面積 14.79 キロm²



調印後、握手を交わす両町長(みなかみ町にて)



この町
にある
ある

町の
お宝紹介

谷川に響く琴線に触れる

尺八の音

木村 博さん
(谷川区)

素晴らしいこの町を町民の皆さんと一緒に大切にしていきたい、町にある「お宝」を再確認するコーナーです。
「この町には、いろいろある。何も無いことない。」
このコーナーでは、皆さんからの情報もお待ちしております。
町のお宝をご存じの方は是非一報ください。

演奏家に愛用されています。

2年前には、「群馬県指定伝統工芸品及び伝統工芸士」に認定されました。

が、町内で演奏会をされることもあるそうです。



大小様々な作品



宿の食堂で次男（慎吾さん）制作の尺八について意見し合うお二人

閑静な佇まいと谷川の美しい景観の中に、宿と併設された尺八の工房があります。工房の持ち主、木村博さんの竹号は「筧山」。宿の名称と同じです。大学時代に尺八と出会い、趣味の演奏が高じて、独学で制作を始めて40年。

二人の息子さんも社会人になってから尺八に興味を持たれ、長男は旅館業の傍ら演奏家として、次男は演奏の他に製管師として一緒に尺八作りをされています。

日本全国に営業展開し、現在では海外からも注文が入るほどプロ・アマを通して多くの

後世に伝えたい
技・届けたい音

旅館業を息子さんに譲り3年。今後はこれまで苦労しながら引き出しに貯めてきた技を活かし、尺八作りの集大成に入りたいと力強く話して頂きました。宿の夕食時には尺八の演奏が聞け、日本人の琴線に触れる特有の音色を届けられます。年内は未定です

尺八コラム

尺八に適している竹は、曲がりのないもので、3年から5年の竹を採取し5年から10年寝かす。完成品の保管に適した湿度は60%程度。

1本の制作には最低2ヵ月を要し年間に約100本から150本が制作されている。

？ むむせとクイズ

問題 宿「筧山」の工房で作られている楽器は何ですか？

① 琴 ② 三味線 ③ 尺八

前回の議会日より50号ふるさとクイズの正解は『① エコパーク』でした。

★この頁は町民皆様にご参加頂く頁です。以下を参考にふるさとクイズにご参加下さい。
★正解者には抽選で5名様に粗品を進呈いたします。

参加の
きまり

下のハガキまたは、裏面のFAX用紙などに、クイズの答え・住所・氏名・議会への伝言を記入し、お送りください。
※下のハガキは、裏面を記入後に必ずのり付けをして投函ください。

〒379-1393 群馬県利根郡みなかみ町後閑318
みなかみ町議会事務局
議会日より「ふるさとクイズ・ご意見」係
締切：平成29年11月30日（当日消印有効）
※当選者の発表は、商品の発送をもってかえさせていただきます。

群馬県利根郡みなかみ町後閑318

みなかみ町議会事務局
「ふるさとクイズ・ご意見」係

郵便はがき

3 7 9 1 3 9 0

654

沼田局承認

差出有効期間

平成31年3月

31日まで

(切手不要)

記入欄は裏面にあります

山折り線



みなかみの風物詩 りんご

声



皆様の
おたより

ハガキの方は、この線で切り取り
内側へ貼り合わせて投函してください。

← FAXの方は、この線で切り取ってご利用下さい。

FAX番号 0278-25-8127

今回は、6月のユネスコエコパーク登録に
関したご意見が多く寄
せられました。喜びや
祝いの言葉を頂きこち
らも嬉しくなりまし
た。
記念ポロシャツの販
売を希望される意見も
ありました。数に限り
はありますが役場エコ
パーク推進課にて8月
より一枚3千円で販
売させて頂いておりま
す。

☎ 25-5032
(直通)

○クイズの答え ⇒

○差出人住所 ⇒ 〒

○差出人氏名 ⇒

○年代 ⇒ ・～10代 ・20代 ・30代
(該当項目に○印を
付けてください) ・40～60代 ・70代～

○議会への伝言

のりしろ

のりしろ

のりしろ

編集モニター アドバイス

利根商
PC部

前号で紹介したコーヒーショップ(喫茶)営業で夏休み返上の忙しい中、アドバイスをしてくれました。

毎回気付かされることがあり、生の声は実践する勇気となっています。

今回は3つに心がけました。

1. 絵かグラフを取り入れ見やすくする。
2. 左右、裏表の続き頁では、紙面構成と流れを考慮する。
3. 写真やグラフには誰が見ても分かる説明を。



PC部が販売員の
コーヒーショップ営業の様子
(水紀行館)

虚礼廃止にご協力を

議員は公職選挙法により、以下の行為は禁止されています。また、町民の皆様が議員に寄付を求めるようなことも禁止されています。

趣旨をご理解のうえ、ご協力をお願いします。



町内会の宴会や旅行などの催物への寸志や飲食物の差し入れ

お祭りへの寄付や差し入れ

秘書などが代理で出席する場合の結婚祝



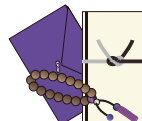
お歳暮やお年賀



地域の運動会やスポーツ大会への飲食物の差し入れ



入学祝・卒業祝



秘書などが代理で出席する場合の香典



葬式の花輪・供花



落成式・開店祝の花輪

議会傍聴のご案内

傍聴は、どなたでもできます。ただし、当日に議場入口で受付を済ませてからご入場ください。

..... 流れ

- ①受付にて「受付表記入(住所・氏名・年齢)」
 - ②受付表を係に渡して「傍聴カード」を受け取る
 - ③傍聴席へ
 - ④帰りに「傍聴カード」を返却箱へ入れて終了
- ※注意/飲食・録画・録音・写真撮影は禁止。

ぜひ一度、本会議を傍聴してみませんか。

次回の定例会は

11月30日(木)～

12月 8日(金)の予定。

場所: 役場本庁舎3階議場

席数: 34席



議会だより編集特別委員会

委員長…中島 信義
副委員長…森 健治
委員…高橋久美子
石坂 武
山田 庄一
原澤 良輝

編集アドバイザー(写真) 安部 武

編集アドバイザー(文章) 利根川太郎

編集モニター……………利根商パソコン部

「フリーライフ 家族・自然・仕事」

ITビジネス コンサルタント クック COOK・CRAIG クレイグ さん 44歳(谷川区)

りか 里香 さん

——みなかみを知ったきっかけは？

東京での会社勤めにはストレスがあり、働いていた東京の会社から独立を決める際、グーグルアースなどを使っていくつか候補地を探した。英語を話せる方がいると思いアウトドア事業者の「キャニオンズ」に伺い不動産屋を紹介して頂いた。

——なぜ、定住を？

食べ物がよく、犯罪が少なく、四季がある日本が好きで、きれいな川や山でアウトドアに適し、新幹線などのアクセスもよいこの町が私に一番即していた。文化的であり、土地を変えず自給自足を継続したスタイルが好きである。

——住んで良かったことは？

地域の人に良くして頂いている。地域活動にも参加しているし、祭りも面白い。東京にはない距離感で全体的にバランスが良い。母国語で過ごす家族の時間が増えた。家も思い通りに新築できて快適である。

——お困りのことは？

将来のこどもの教育に選択肢が少ない。インターナショナルスクールやIB認定校ができると嬉しい。仕事の選択肢が少ない。新幹線には子ども割引の定期がない。

——提案されたいことは？

様々なことの相談窓口が分からないので、分かりやすいシステム作りを町と一緒にやりたい。
折角の景観なので電線を地中へ埋める。空き家・ホテルの取り壊しや再利用など。

——夢は？

趣味の部分で、いつか田んぼで合鴨農法やニワトリや豚の飼育などをやってみたい。
仕事が取れるチャンスを広げていたら、在宅ワークを支援したい。紹介する仕事が出来たら良い。



谷川岳組(まないたぐら)と子ども達

編集後記

寒い夏だったが、収穫の秋を迎えひと安心。上越国境の山々は、日本海からの水分を含んだ季節風がもたらす世界有数の豪雪地帯。雪解け水を満たす5つのダム。ブナをはじめとする森の木々が地下水を貯める緑のダム、そして米を育てる棚田など無数の小さな水田ダム。厳しい自然を上手く利用した先人の知恵を活かしたい。自然との共有を夢にみなかみを選ばれたクック・クレイグさん、里香さんに感謝！
(原澤)



移住・定住シリーズ⑭

